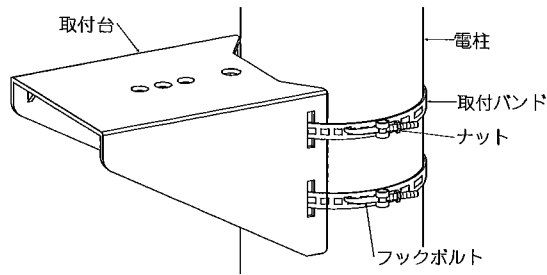


■ RL-834Nの場合

<適合電柱径φ190～φ350の場合>

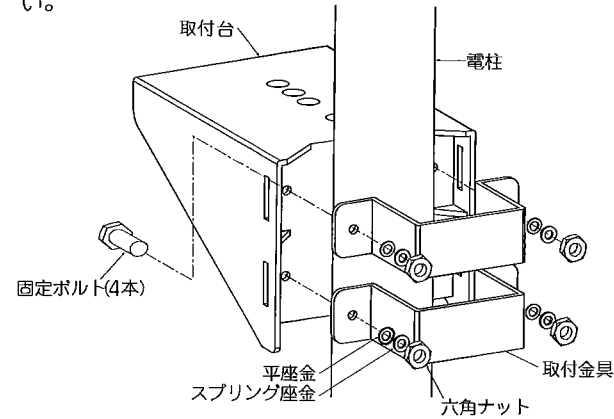
- 取付台に別売の電柱用取付バンド(RL-804N)(2本)を取付けてください。
- 取付バンドを電球に巻き付け、フックボルトを取付バンドの穴に引っ掛けてナットを確実に締め付けてください。



△ 取付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。

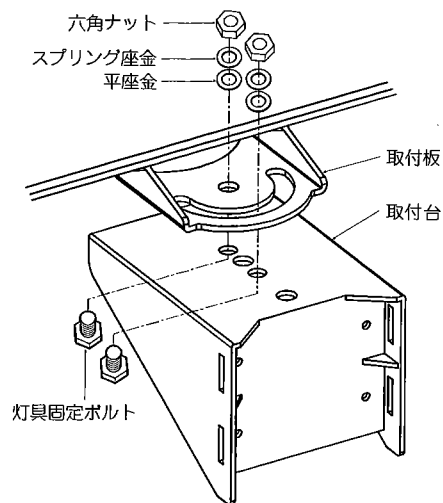
<適合電柱径φ101.6の場合>

- 取付台に取付金具を取付けてください。
- 取付金具(2本)と取付台を固定ボルトに通し、平座金、スプリング座金、六角ナットで確実に締め付け取付けてください。



△ 取付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。

- 取付板と取付台を灯具固定ボルトに通し、スプリング座金、平座金、六角ナットで確実に締め付け取付けてください。

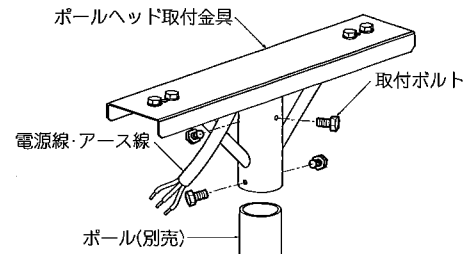


△ 取付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。

■ RL-835Nの場合

<適合ポール径φ89.1の場合>

- 別売のポールヘッド2灯用取付金具(RL-835N)内に電源線、アース線を引き込んでから、ポールヘッドをポール(別売)に合わせ、取付ボルト(4本)で確実に取付けてください。

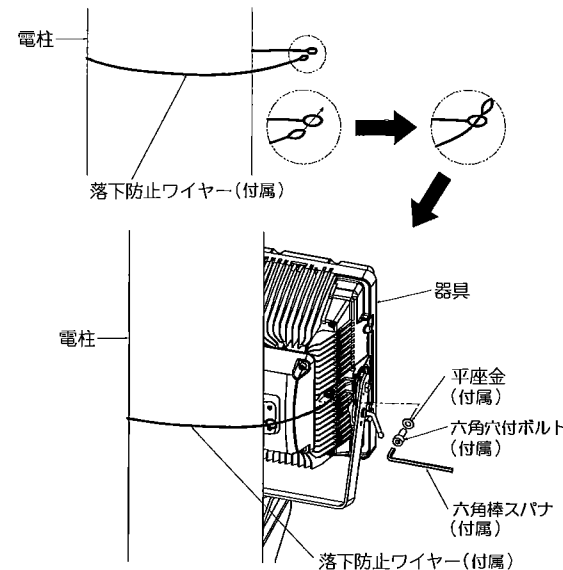


△ 取付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。

- 落下防止ワイヤーを取付けてください。

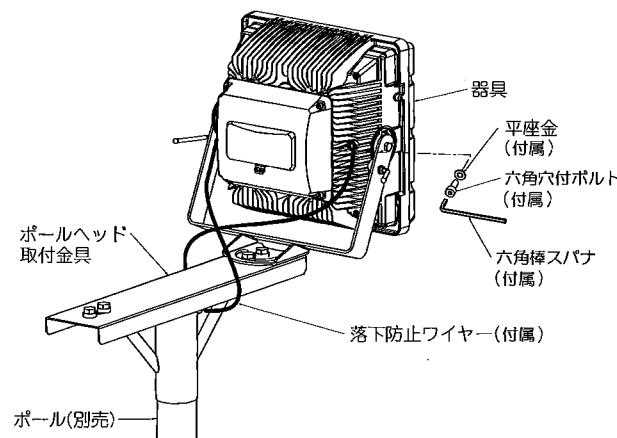
a. 電柱の場合

落下防止ワイヤーを電柱に巻きつけて、ワイヤーの片側を反対側の穴に通してください。六角穴付ボルトを平座金、落下防止ワイヤーの穴に通し、付属の六角棒スパナで確実に本体に締め付けてください。(下図参照)



b. ポールヘッド取付金具の場合

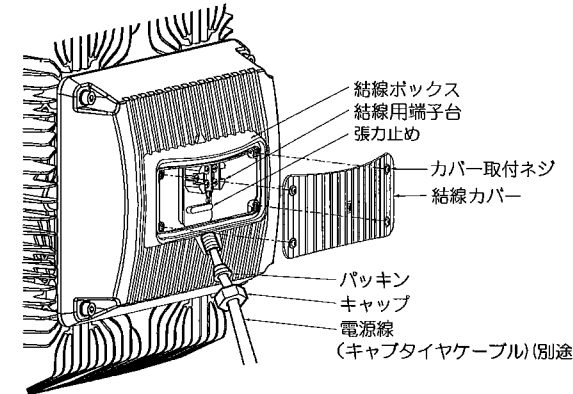
落下防止ワイヤーをポールヘッド取付金具に巻きつけて、(本体両側とも)六角穴付ボルトを平座金、ワイヤーの穴に通し、付属の六角棒スパナで確実に本体に締め付けてください。(下図参照)



△ 取付けが不十分な場合、器具落下の原因となります。

- 5. カバー取付ネジ(4個)をゆるめ、カバーを結線ボックスからはずしてください。

- 6. キャップ、パッキンをはずし、電源線をキャップ、パッキン、結線ボックスに通し、キャップを確実に締め付け固定してください。電源線(三芯)のキャプタイヤケーブルを張力止めで固定してください。



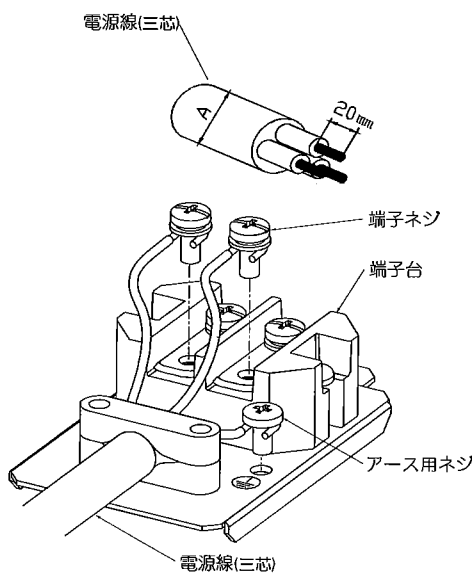
△ 締め付けが不完全ですと、浸水による漏電・器具故障の原因となります。

- 7. 電源線を端子台に接続してください。同時にアース線はD種接地工事を行ってください。

※100Vで使用の場合でもD種接地工事を行ってください。

- 電線はストリップゲージ長20mmにむいてください。
- 電源線を端子ネジに巻き付けてから、端子台に確実に締め付けてください。
- アース線はD種接地工事を行ってください。

※電源線は三芯仕様、外径(下図A寸法)はφ8～φ12mm、芯線は1.25mm²以上のキャプタイヤケーブルを使用してください。

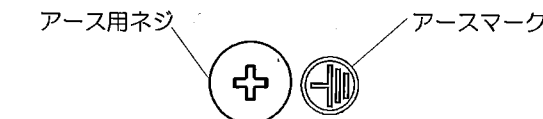


△ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

△ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。

△ 指定の電源線を必ず使用してください。漏電・感電・器具故障の原因となります。

※D種接地工事について
アースマーク(下図)が付けられている箇所のネジにアース線をつないでください。



- 8. カバーを結線ボックスに合わせて、カバー取付ネジ(4個)で確実に取付けてください。

△ 取付けが不完全ですと、浸水による漏電・器具故障の原因となります。

- 9. 水抜き用ネジ(1個)、ワッシャ(1枚)、ゴムワッシャ(1枚)を取外して水抜き穴を確保してください。

※水抜き穴は、本体に9ヶ所あります。取付方向や照射位置の調節角度より、最下部の水抜き穴を確保してください。

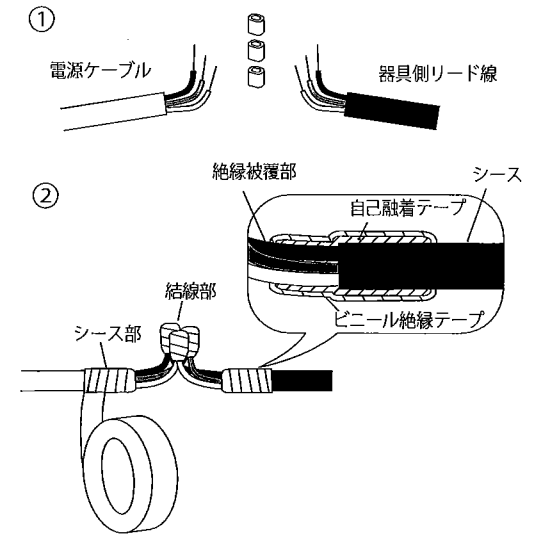
△ 水抜き穴を必ず確保してください。漏電・感電・器具故障の原因となります。

◆ 結線時のご注意

- 1. 電源ケーブルと器具側リード線を結線し、結線部及びシース部を自己融着テープなどで確実に防水・絶縁処理を行ってください。

結線部、シース部に直接水がかかると、水分が電源リード線を伝わる毛細管現象により器具内部に水が侵入する恐れがあります。

※ 結線部に直接水がかからないように防水BOX内での施工をお願い申し上げます。同時にアース線はD種接地工事を行ってください。



- シース部とケーブル絶縁被覆部両方を自己融着テープなどで防水処理を行ってください。

- 自己融着テープ処理後、ビニール絶縁テープで結線部をまとめて巻いてください。

△ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

△ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。

◆ 照射角度の調整

- 1. 照射角度の調整は、表面図の取っ手部分で器具をしっかりと支えながらハンドル(2箇所)を緩め、ゆっくりと器具の照射角度に合わせてください。しっかりと支えていない場合、器具が急に回転し破損、けがの原因となります。

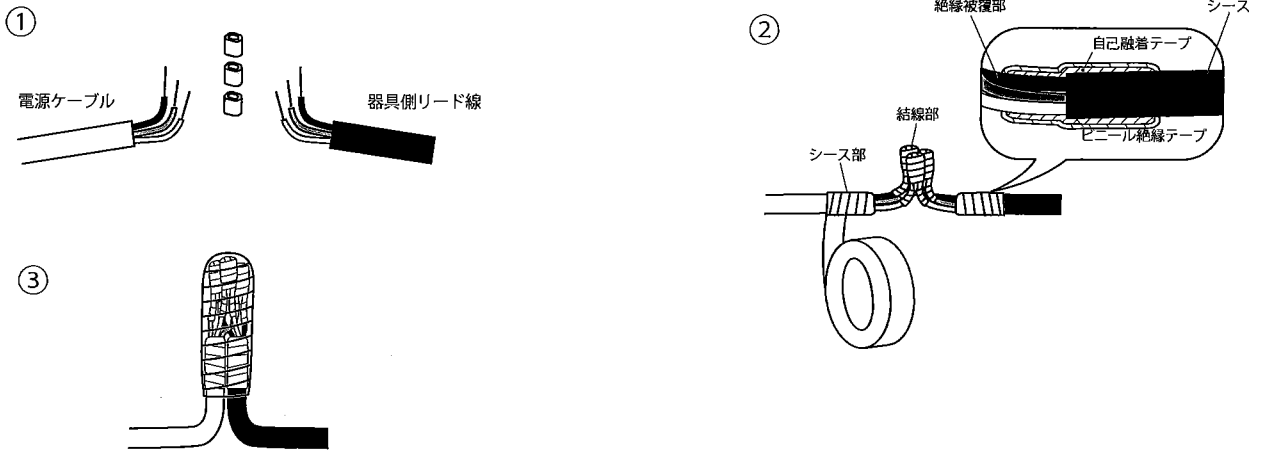
- 2. 照射角度調整後、ハンドル(2箇所)をしっかりと締め付けてください。

△ 締め付けが不十分な場合、投光器の落下による事故の原因となることがあります。

- 3. 照準器による照射角度の調整をご希望の場合は、最寄の弊社営業所までお問い合わせください。

◆ 結線時のご注意

1. 電源ケーブルと器具側リード線を結線し、結線部及びシース部を自己融着テープなどで確実に防水・絶縁処理を行ってください。結線部、シース部に直接水がかかると、水分が電源リード線内を伝わる毛細管現象により器具内部に水が侵入する恐れがあります。※結線部に直接水がかからないように防水BOX内での施工をお願い申し上げます。同時にアース線はD種接地工事を行ってください。



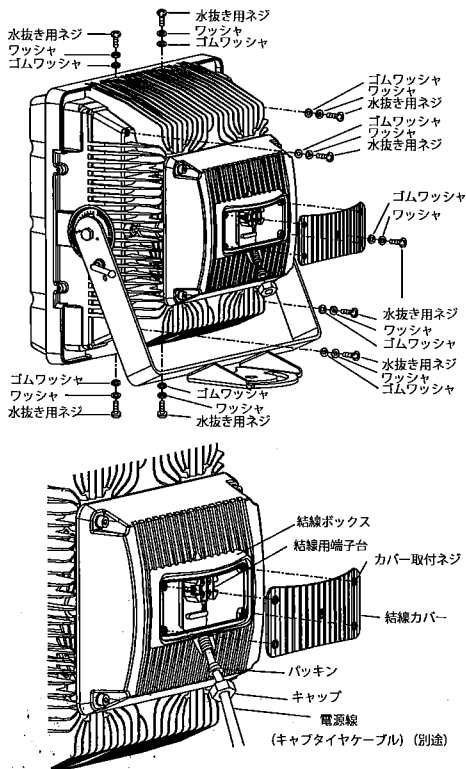
- シース部とケーブル絶縁被覆部両方を自己融着テープなどで防水処理を行ってください。
- 自己融着テープ処理後、ビニール絶縁テープで結線部をまとめて巻いてください。
- 電源ケーブルからの水の侵入を防ぐため、絶縁被覆部が見えなくなるまでテープで防水処理をしてください。

⚠ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

⚠ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。

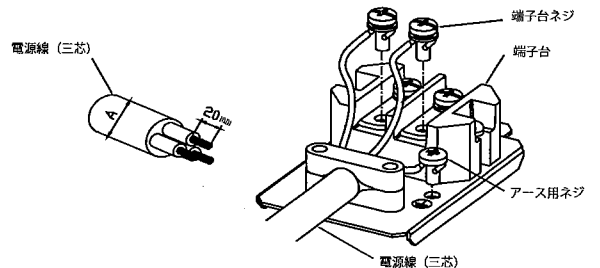
2. 水抜き用ネジ（1個）、ワッシャ（1枚）、ゴムワッシャ（1枚）を取外して水抜き穴を確保してください。

※水抜き穴は本体に9ヶ所あります。取付方向や照射位置の調節角度より、最下部の水抜き穴を確保してください。



3. 電源線を端子台に接続してください。同時にアース線はD種接地工事を行ってください。

- 電線はストリップゲージ長20mmにむいてください。
- 電源線を端子ネジに巻き付けてから、端子台に確実に締めてください。
- アース線はD種接地工事を行ってください。
※電源線は三芯仕様、外径（下図A寸法）はφ8～φ12mm、芯線は1.25mm以上のキャブタイヤケーブルを使用してください。



⚠ 接続不完全や容量オーバーの場合、火災・感電・器具故障の原因となります。

⚠ 電気設備技術基準で定められたD種接地工事を必ず行ってください。火災・感電の原因となります。

⚠ 水抜き穴を必ず確保してください。漏電・感電・器具故障の原因になります。